

# 第 10 回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
リュウコクダイガク	ケイエイガクブ	テラシマ カズオ
龍谷大学	経営学部	寺島 和夫 ゼミ

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
テラシマゼミIPPAN	ヨシミ カイリ	6
寺島ゼミ 1 班	吉見 海里	

## 研究テーマ（発表タイトル）

龍谷大学の食堂の満足度を上げ利用者数を増やすには

### 1. 研究概要（目的・狙いなど）

私たちの通う龍谷大学の食堂は昼休みになるといつも満席で行列、大変混雑している。

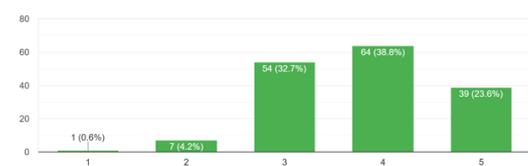
そこで龍谷大学の学生はそんな現状をどのように思っているのか。

学生は食堂にどれくらい満足しているのか。

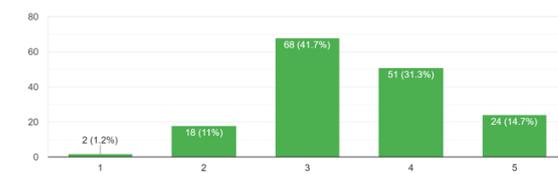
そこからどのような対策を打っていくのか、今後の対策案を練った。

### 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

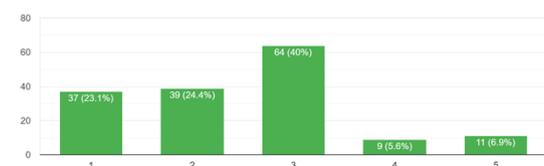
3.2で選択した食堂について料理の満足度（味）  
165 件の回答



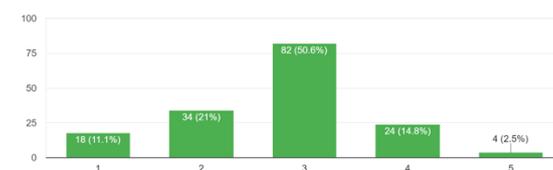
3.2で選択した食堂について料理の満足度（価格）  
163 件の回答



3.2で選択した食堂について料理の満足度（席数）  
160 件の回答



3.2で選択した食堂について料理の満足度（待ち時間）  
162 件の回答



食堂の現状は過去にも何度も打開策をうったがこれといって目に見える結果が出たことは少なかった。

食堂の席数の少なさをカバーするために、昼休みに教室を解放して、食堂の料理を持ち込めるようにしたことで、今まで食堂の料理を食べたくても食べることができなかった人が食べることができるようになった。私たちが、昼休みに教室に料理を持っていく生徒をカウントしたところ毎日 200 人前後いた。予想より多かったが、まだ教室解放のことを知らない人も存在するので、そのことを広めて

いき、多くの人に認知してもらえるようになれば、さらなる増加が見込める。さらに上のグラフから分かるよう、食堂の料理、価格に関してはある程度満足度は高くなっている。しかし席数、待ち時間のサービス面では料理の満足度と比べて低くなっている。つまり対策を打つべきは、料理ではなく、サービス面なのである。

### 3. 研究テーマの課題

席数が課題ではあるが、食堂の広さは変えることができない要素のため、食堂の席数を増やすことは難しい。食堂の席数を変えずに席数の満足度を上げるためには、教室を利用してもらう、死席を減らす。死席とは、例えば4人席を2人、3人で使った際に、できる余った席のことである。さらに席の回転率を上げどんどん席を回すなどが挙げられる。

他にも課題である待ち時間は料理提供のスピードをこれ以上上げるには人件費などの費用がかさむ。列ができていてどのくらいの時間で自分の番に回ってくるかを分かれば、さらに使用しやすくなるだろう。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

列だけを見て待ち時間が長いと判断してしまっている学生がいることから、待ち時間がどれくらいなのか目安となる時間を記載したシールを足元に貼る。

回転率を上げるために15分以内の食事だけを目的としたスピード席を設ける。

席数の少なさをカバーするために、解放教室利用の促進。

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

食堂の満足度や利用頻度、利用人数などを調査するためにアンケートを2回実施した。2回とも龍谷大学深草キャンパスに通う大学生を対象に実施。で1回目はGoogleフォームを用いたケータイ、スマホで行えるアンケート、2回目は紙を利用した古典的なアンケートを行った。

### 6. 結果や今後の取り組み

今後はこれらの解決策を実際に実施し、さらに学生への満足度調査を進めていき、卒業論文にまとめたいと思う。

### 7. 参考文献

無し。

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

●発表時に使用する成果物（例、商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

【企画シート作成上の注意】※「第10回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。

- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「日経ビジネス電子版」にリンクされた特設サイトに掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただく場合がございます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

---

↑ここまでを4ページ以内に収めて、提出してください↑